

大洋リアルエステート株式会社

送信者：“大洋リアルエステート株式会社”<REDACTED>
 宛先：“三原破産管財人”<REDACTED>
 送信日時：2011年9月29日 8:31
 添付：2009年11月26日三菱地所買取提案.pdf
 件名：三菱地所の買取り提案のご要請資料の件
 2011年9月29日

御堂筋共同ビル開発特定目的会社
 破産管財人
 三原 崇功 様

昨日(9月28)添付書類と共に貴方にお送りしたEメール本文に、
 一箇所抜け落ちがありましたので、その部分を追加して
 添付書類と共に再度お送りします。

追加箇所は、下記Eメール第一段落の1行目です。
 下線太字で表記しましたのでご確認下さい。

大洋リアルエステート株式会社
 代表取締役社長
 堀内 正雄

2011年9月28日

御堂筋共同ビル開発特定目的会社（以下「TMK」と言う）
 破産管財人
 三原 崇功 様

大洋リアルエステート株式会社
 代表取締役社長
 堀内 正雄

本日（9月28日）大阪地方裁判所の調停で別室で貴方からご要請のあった、
 2009年11月26日に三菱地所より提出された、TMK出資金並びに
 ビルを大洋リアルエステート又は三菱地所が買取る提案を
 お送りします。

当時、鹿島建設が、契約書締結直前になって、当初より決定していた
 工事代金を1億5千万円不当な値上げを三菱地所に要求し、
 どういう理由か三菱地所はその増額を認め、地鎮祭直前の2008年7月初め頃
 堀内と当時の執行役員小野氏並びに仲條部長ら2名との間で
 堀内がこの不当な値上げを反対するも、51%のマジョリティで持つて
 強引に堀内を抑え承認させました。
 この内容に、当社は当時より大きな不審感を持っていました。

添付伊藤専務よりの買取案にある鹿島への工事代金残額（3,189百万円）について、
 この鹿島の大洋が不当と信ずる追加した1億5千万円の真実の内容を
 開示するよう三菱地所に要求しましたが、
 三菱地所や鹿島建設は真実を開示しませんでした。

その後2010年6月頃までかかって追求した結果、
 疑惑の10%に相当する1,500万円について、三菱地所は100%逃げ道がなくなり、
 担当者のミスであったとして、当社にヒルトンホテル大阪で

ビデオカメラの前で謝罪し、その後文章でも謝罪しました。

その他、1億3,500万円は、90%迄追い詰めましたが、
まだ完全に固まっておらずそのまま現在も放置されています。

上述の理由で、添付伊藤専務文書内の鹿島建設への未払工事代金の
不明確な内容の真実開示を要求中に、翌年1月に
鹿島建設の本件ビルのKOパネル不正工事が国交省で問題となり、
大洋の買取り案は辞退しました。

従って、三菱地所は自ら提案した買取りの責任があると思っていましたが
実行しませんでした。

以上。